

かけはし

遊びの中にも学びがいっぱい、学びの中にも遊びがいっぱい～繋がる遊びと学び～

「幼稚園は毎日楽しく遊んでいて、小学校は机に向かってお勉強。」そんなイメージをお持ちではありませんか。実は、本園・本校で幼小接続の研究を始めた当初、教職員間で互いに認識を大きく改めることになったのが、幼児教育・小学校教育それぞれの「学び」の部分でした。

「幼児教育に学び?」「小学校なのに、遊び?」そう思われる方も多かもしれません。しかし、幼児教育の学びは小学校以降の学びの基盤となる大切な能力を育みます。また、小学校教育でも、遊びを通して子どもたち一人ひとりが主体的に学びに向かうための学習活動を大切にしています。今回は、「遊び」と「学び」のつながりの一部をご紹介します。

町屋幼稚園 5 歳児 日常の保育から

自分で考えたお話をみんなの前で伝える「てのひらえほん」タイム。自分で考えたお話を友達と伝え合っているうちに、「みんなでひとつのお話を考えたら楽しそう!」と、クラスみんなでひとつのお話を作り、劇が出来上がりました。劇中のセリフや衣装、背景も自分たちで考え、友達と一緒に一つの劇を作り上げていく楽しさを感じました。



言葉による伝え合いや、かいたり、作ったり、音楽に親しんだりすること、想像することや表現すること。友達と協働して作り上げる劇遊びの活動の中には、小学校の教科の枠組みを超えたたくさんの学びが詰まっています。

文字や数にも、園生活の中で自然と触れています。5歳児のクラスでは、当番さんが「お休み調べ」で欠席者数を調べたり、時計を見て行動したり、黒板に日付や曜日が書かれていたり、日常生活の中で文字や数量に対する興味や関心をもつ工夫がたくさんちりばめられています。だからこそ、小学校に入学したての子どもたちが「文字を書きたい!」「たくさん数えたい!」と、学習への意欲と期待をもってくれるのですね。



第七峡田小学校 1年生の「〇〇あそび」

教室や「ななはけラボ」で遊ぶ1年生を直撃。教科の中にある「〇〇遊び」を、たくさん見つけました。遊びに没入することを通して、各教科で身につけたい力が確実に付いています。

算数「かたちあそび」

みんなのお家で見つけた、いろいろな箱の形。積み上げたらお城になったよ。よく見ると、底にはまる、さんかく、しかくが。いっばい。写し取って、お絵描き遊びもやってみよう。



体育「固定施設遊び」

うんてい、鉄棒、タイヤにジャングルジム。小学校の校庭には楽しい固定施設がいっぱい。どろんどろん体を動かして遊ぼう!



国語「もの名まえ」

「このお店は、何屋さんでしょう。」もの名前を集めて、お店屋さんごっこをしました。タブレットで画像を見ながら、かきたいものの絵をかいています。



生活「きせつとなかよし あき」

小学校のピオトープや荒川自然公園で、秋見つけ。ドングリや松ぼっくり、きれいに色づいた葉っぱから、お気に入りを探しました。学校に持ち帰った後は、秋の自然を生かしたおもちゃを作って楽しみました。



このように「遊びの中に学びがある」ということや、幼児教育と小学校教育における学びはつながっているということを見通しあうことで、小学校への見通しをもった保育や、子どもたちの経験・学びを大切にしたい教育活動の展開に努めています。

第七峡田小学校「そうぞうと 思いをこめた てんらん会」

12月初旬、第七峡田小学校の展覧会が実施されました。春から交流を続けてきた5年生と5歳児は、協力し合って展覧会の壁掛けスローガンを作成しました。色とりどりの折り紙をちぎって貼った文字と、丁寧に折ったお花飾りは、小学生一人一人の思いのこもった作品の並ぶ体育館内を華やかに彩りました。園児たちも、5年生に優しく関わってもらい、親睦を深められた時間となりました。

その後、町屋幼稚園では全学年が展覧会を見学させてもらいました。5歳児は、5年生と作ったスローガンを見つけて



嬉しそうでした。また、色々な作品を見て、「小学生ってこんなにすごいものを作れるんだね」「小学校ってすごく楽しそうだね!」と、就学への期待が高まった園児たちでした。